

2025年度 第1回上信越ブロック協議会 議事録

2025年 6 月 2 6 日

14 : 00~16 : 00

長岡市中之島文化センター

司会：山田 時代 副会長（新潟）

議長：小山 恒弘 会長（新潟）

出席者：25 名

日本代協 雨宮理事

長野代協 中澤 駒澤 桐島 高木 山口 竹内 三輪 志摩 8 名

群馬代協 中田 星野 久保田 中島 高野辺 田中 南雲 7 名

新潟代協 小山 高橋 小川 山田 鈴木 庄田 桑原 木村 8 名

新潟代協 斎藤（事務局）

議事録作成者：新潟代協 高橋副会長、事務局 斎藤

議事録確認者：長野代協中澤会長 群馬代協中田会長

挨拶（小山会長）

先日 6 月 13 日に日本代協の総会があり会長 3 名参加。決算、活動内容については可決された。

マイナス予算については質問も出ていたが 20 事業の見直し、活動の縮小ではなく経費の掛け方を検討していくということで可決された。会長懇談会では 2024 年度の取り組みの 3 冠達成目標達成、プラマイゼロ以上の達成で表彰を各会長が受けて来たことをご報告いたします。

2025 年度については業界共通の自己点検の試験的实施に伴って苦労していると思うが、業界が変わっていく過渡期な重要な年になっていくと思います。代協という組織をフルに活用して情報収集をして対応して欲しいと思います。上信越ブロックでも公開セミナー、人材育成、日本代協コンベンションのご当地担当等盛り沢山の行事が待っております。今年 1 年新潟がブロック事務局を担当しますので宜しくお願いします。

挨拶（雨宮理事）

冒頭の委員会の時にお話しさせていただきましたが、ブロック協議会は日本代協の主催の会議体です。私地域担当理事は主催者側ということになります。全国を見てみると地域担当理事が来賓の扱いをされているところがあるようですが、ブロック協議会の開催自体が全国でバラバラということもあり、今年度日本代協が本来のブロック協議会を作り直す取り組みをしています。ブロック会議の一番の目的は 日本代協の様々な施策を各県、支部、委員会、会員にしっかり下していくことが大きな役割となります。コンセプトがバラバラになっているところを直していきます。一番大事な事は、日本代協執行の委員長がここに集まっていただき、各代協の委員長へ打ち合わせししっかり伝える、ブロック全体がサポートし、全ての会員へ正しい情報をお伝えする、その機能を充実させないと県は何をやってくれるのかという疑問が出てくると思います。しっかりと今年度はやっていきたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

先日新潟代協総会のセミナーで野元アドバイザーが記念講演を行いました。これから我々の業界が変わっていくのは仕組みが変わるのではなく、常識が変わっていく、ここを変えていく時代になったのだという素晴らしいセミナーでした。6 月 25 日に金融庁が「健全な企業文化の情勢及びコンタクトリスク管理体制に関する対話結果レポート」について発表した。不祥事の対応、リスクに対するコントロールするにあたり組織体制のルール強化、制度的な対応、それ以外に金融庁が役員、企業の風土文化がお客様に対して悪い影響を及ぼす、損保協会の一連の流れもコンダクトリスクに象徴されていると思うが、金融庁はこの件について問題意識を持っている。

銀行、生命保険会社、証券会社大手と会合を開いてヒアリングの結果、企業文化がどのように悪い方に進んでいるのかというレポートが金融庁から発表されています。我々もコンダクトリスクは保険会社だけではなく、私達代理店の企業の文化をチェックされる事になります。そこまで見られますよという時代になってきました。そういう所を一生懸命されている所はこれから頑張れますし、まだ出来ていない所はそこに注力していくという事です。業務品質を上げる根幹の所はそこにあると思います。色々な制度やヒアリングシート、ポイントの確認もあるが、そういった所も大事な時代になってきているという事です。色々な情報が日本代協、ブロック協議会から皆様の所へ広げておりますので、上手に利用していただき自社のお客様にプラスにしていただけたらと思います。長くなりましたが本日はよろしく願いいたします。

審 議

□審議事項 1 功労者の選任について（資料④を参照）

新潟代協小山会長から功労者の選任について、新潟代協の奥田義昭氏を推薦したいと提案があり全員一致で可決された。

※奥田義昭氏

奥田義昭氏は新潟代協の理事、専務理事、副会長、会長の役職を歴任されました。

在任中は積極的に業界並びに周辺知識の研鑽に励まれて、習得された知識を惜しみなく勉強会や講演会を通して会員の知識や資質向上に貢献された。また、長いこと新潟代協事務局を奥田保険内に置かせて頂き、人的・物的に援助と協力頂き代協運営にも大いに貢献頂きました。

□審議事項 2 人材育成研修会予算案について（長野代協）（資料⑤を参照）

長野代協桐島副会長から予算の修正について説明があり、全員一致で可決した。

前回の収支予算案から修正された箇所

（収入の部） 800,000 円 → 740,000 円

前回 日本代協 500,000 円 修正後 530,000 円

前回 ブロック 300,000 円 修正後 210,000 円

（支出の部） 800,000 円 → 740,000 円

前回 予備費 76,000 円 →16,000 円

※参加者 予算上予算内に収まったので各代協 会長プラス 5 名の参加とする

※ブロックの収支予算案ですが、人材育成の予算で 6 万ほど予算を下げてくださいだったので
余剰金（戻し入れ額）が 2,000 円のプラスに修正となります。

新潟・桑原委員長の意見：希望ですが Web 配信できないか

小山ブロック長の回答：同時配信は予算の問題もあるのでご意見として賜りたい
オンデマンド等で対応できるか検討します。

協議事項

□日本代協コンベンションご当地担当、予算配分について（10万円）

小山会長からコンベンションご当地担当者について、各代協から1名担当者を選任していただき、7月末までに新潟代協事務局に担当者を報告、8月に各県担当者で何をするか打ち合わせ、予算についても担当者の3人をお願いしたいと提案があり、長野・群馬代協の担当者を7月末までに新潟代協事務局に報告する事と決まった。 新潟代協は担当者：桑原組織委員長

●雨宮理事から

日本代協ではすでにコンベンションのPDが来ていますので、ブロック協議会の中でもPDを作っていていただいて連携をとっていただくと良いと思います。その橋渡しはしますのでご連絡ください。

報 告

□報告事項1

3県会長からの現状と課題についての報告か下記の通り

代協名 会長名	現状と課題
長野代協 中澤純一	【現状】 ・4月13日：第4回理事会開催 ・5月9日：飯田支部「支部の在り方」に関する意見交換会開催 ・6月6日：定時総会&70周年記念式典開催 【課題】 ・2支部の在り方について、方向性を事業見直し委員会を中心に早急に決めていく ・支部の再活性化…活動メンバーの固定化
群馬代協 中田全一	1. コンサルティングコース受講者募集・仲間づくり・ぼうさい探検隊マップコンクールの数値目標の達成。前年度に続き「三冠王」の獲得を目指します。 2. 重要項目としている教育・研修について日本代協アカデミーの推進、支部セミナーの開催。しかしながら代協アカデミーの利用代理店が増えていないのが現状です。 3. 代理店価値向上の推進について、RM講座、ジギョケイ、社労士診断認証、JSA-S1003。取組については会員間の意識に温度差があり伝えきれていないのが現状です。 4. 上信越ブロックの公開セミナーを開催します。現在進行中です。 5. 収益事業を展開し、赤字体質の財務状況を変えていきます。会費の改定を含んだ検討をしていきます。
新潟代協 小山恒弘	6月5日定時総会開催 記念公演には新潟代協アドバイザー野元氏より「代理店のミライを考える」～「ありがたい姿」を描き 今から一步を踏み出そう～ と題して講演をしていただいた。 来賓、保険会社、会員の出席96名。 9月のぼうさい国体、10月の防災セミナー開催に向けて準備中 会費の改定について6月5日正副会長会議にて討議、6月12日理事会にて意見交換、次回8月7日の理事会にて協議予定。

	事業提携先について手数料の交渉、事業の活用を強化する
	6月11日時点、入会3店、退会4店（予定）
	7月9日組織委員長と共に会員増強の保険会社回り予定

長野代協・中澤会長

6月6日70周年事業に雨宮理事、新潟代協、群馬代協よりたくさんの方よりお越しいただきありがとうございました。おかげさまで盛大に執り行うことができました。

長野代協の課題のひとつである支部存続が難しい、3月終わりに伊奈支部、5月のあたりに飯田支部に県の役員数名で伺ってきました。昨今の代協活動についてディスカッションし16代理店中12代理店の参加があり、大変盛り上がりました。両支部の色々な意見を頂戴しましたので年内中に次年度以降どうするか県として検討していきたいと思います。今の流れでいくと合併は無いのかなと思います。こういった問題が出てきたのも、支部活動が活性化できていない背景がございます。これは今年の大きいテーマと捉えて長野代協も活動していきたいと思います。先日の全国会長懇談会に参加した際に特別賞を受賞された愛知代協さんを参考にさせていただきたいと考えています。本年度の主要課題にしていきたい。

群馬代協・中田会長

コンサルティングコース受講者募集・仲間づくり・ぼうさい探検隊マップコンクールの数値目標は必ず達成したいと思います。前年度に続き「三冠王」の獲得を目指します。

群馬代協として重要項目としている教育・研修について日本代協アカデミーの推進、支部セミナーの開催。日本代協アカデミーにはお金を使っている状況ですので、何とか利用代理店を増やしたいと考えています。代理店価値向上の推進について、RM講座、ジギョケイ、社労士診断認証、JSA-S1003。取組については会員間の意識に温度差があり伝えられていないのが現状です。

上信越ブロックの公開セミナーを開催については、講師選定はしたが予算、内容は調整中です。付加価値収益事業を展開し、赤字体質の財務状況を変えていきます。会費の改定を含んだ検討をしていきます。群馬代協は今年度赤字予算で承認されました。支部の予算は減らさないで何とか財務体質を変えていきたい。

新潟代協・小山会長

6月5日新潟代協総会を開催、セミナーは「代理店のミライを考える」～「ありたい姿」を描き 今から一步を踏み出そう～という演題で野元さんに講演していただきました。今回は保険会社の社員さんが、野元さんの話を聞きたいということで、たくさん来てくれたことが特徴的だったと思います。

9月ぼうさい国体、10月防災セミナーと2か月続けて行事があるので準備を進めています。

ぼうさい国体については鈴木 CSR 委員長が実行委員長として進めている。6月30日には正式に出店の連絡が入る予定です。防災セミナーは3年3回目になります。10月11日150名規模で計画しています。

新潟代協でも会費の改定について6月5日の正副会長会議、6月12日の理事会で意見交換をしました。コロナ以降のストックが大きくなってきた状況があり、しばらくマイナス予算を組んできましたがこのままでいいのか、いろいろ揉んでいます。ストックの名目を考えてストックしておくのがあるのではないかと考えています。それを踏まえて会費をどうすればいいのか考えていきたい。今年度は協議だけにして置き、次年度くらいに会費改定になると思います。収益事業として収益が上がっていけば会費を上げずに済むのではないかと交渉を検討しています。事業について会員に幅広く使っていただける仕組みを作りたい。会員増強は6月11日時点で退会4店入会3店で現状マイナスがあります。今年は日新火災さんからの入会がまだないので、来週、保険会社を回り日新、共栄も回って勧誘していきたい。

愛知代協さんの特別賞 上信越ブロックも群馬さんの防災士の事業で手を挙げたのだが4位でもう少して表彰を外してしまった。

新潟代協・木村教育委員長＞群馬代協のアカデミー減少の具体的やめる理由があれば教えてもらいたい

- 継続してなかった、理由は聞いていなかった。
- 1社は展開がうまくできない、計画を立てて従業員にやらせる方法がわからなくて どういう形で社内に落とし込むかが難しいようだった。アカデミーの内容は良いがスタッフへの展開に苦勞して継続しなかったようです。
- 出来れば やめる代理店の具体的な理由をヒアリングしてもらいご連絡ください。

□報告事項 2

4 委員長からの現状と課題についての報告は下記の通り

委員会名 委員長名	現状と課題
組織委員会 山口哲也 (長野代協)	◆4/18(金) 第1回日本代協組織委員会(4/18) ・25年度組織委員会運営方針(「おもしろい・役に立つ・また参加したい」) ・会員に対し以下の日本代協の「組織目的」を理解、認識してもらう 「損害保険の普及と保険契約者及び一般消費者の利益保護を図るため・・・」 →保険契約者、一般消費者の利益を追求する「公益性」の高い組織 ・「会員増強」が最大の目標 →各代協で自主目標を設定する(退会数を考慮した±0以上となる数字) →日新火災、AD社の総轄代理店の傘下の代理店等への働きかけを推進 ・ブロック、代協、支部の活性化 →新入会員オリエンテーション、人材育成セミナーを必ず実施 →支部例会の参加率50%をめざす ・第2回日本代協組織委員会は7/4(金)全国一斉Zoomミーティング ◆5/20(火) 第1回ブロック組織委員会(WEB)開催。 ・日本代協組織委員会議事内容共有 ・仲間づくり目標共有(3代協とも目標7店) ・8/22(金) 代理店賠償セミナー(WEB開催：上信越ブロック組織委員会主催)
企画環境委員会 田中孝司 (群馬代協)	6/23 第2回企画環境委員会 7/18 全国一斉 ZOOM ミーティング 不公正募集の報告と共有 代理店価値向上策の推進、好事例・好取組報告依頼
教育委員会 木村修一 (新潟代協)	①4月25日2025年第一回教育委員会へ出席し下記の内容を報告します。 ・アカデミー会員の減少について今後業務として続けていくべきか？ ・2025年度WEBセミナー運営について半日開催にして運営側の負担を減らす。 ・上期のWEBセミナー運営は7/30・9/11。 ・2025年度コンサルティングコース受講者目標数は前年同数の17件です。 ・トータルプランナー資格の認知度を高めるにはどうすれば良いか？各県連でのアイデアをまとめて次回の会議で発表する。 ・アカデミーチャンネルの新コンテンツ「代協活動から学ぶ」で選定代理店のお願い。

C S R 委員会 南雲正 (群馬代協)	2025 年度ぼうさい探検隊マップコンクール/チラシの配布と募集開始 地震保険の普及／無保険車追放・盗難防止／献血活動等の計画立案 「子ども 110 番の家」代協会員の登録勧奨 河川や道路の清掃活動を通じて地域環境保護活動の計画立案 出前授業・出前講座への取組の推進 第 10 回防災推進国民大会（ぼうさいこくたい 2025） SDG s 17 の目標設定を模索する 6 月 20 日 日本代協 CSR 委員会予定
----------------------------	--

※今回より各委員会報告の後に雨宮さんより意見をいただく

組織委員長会

山口委員長補足 4 月 18 日組織委員会にて 25 年度の組織運営を共有した。面白い、また参加したいと思える組織運営にしていこうということが話し合われた。

会員にとって一番いいものは何なのかという事ではなく、その先にある保険契約者一般消費者の利益を追求する公益性の高い組織であると事を全会員さん理解してもらう活動、挑戦をすることが最大の目標。会員さんからメリットは何なのか？と問われる事が多いが、こちらから出来るだけ与えたいが、会員さんの方から日本代協の施策やツールを見に来てもらうような、代協の良さを分かっている我々がどう会員さんに共有できるか組織委員会で取り組めたらいいと考えている。

仲間づくりとして活動してきたが、今年度は会員増強とします。何が違うかということプラスマイナスゼロ以上を目標、退会をどう減らすかが最大の目標です。3 県で 7 店の新規入会が目標ではあるが、退会の件数が入会数を上回った場合は目標数を修正し目標を高く早め早めに取り組んでいこうというケースが場合によっては可能性があるのでそこを意識しながら活動をお願いします。メリットがないから退会される会員さんを少なくするような心がけをお願いします。

新潟代協の活動で、桑原組織委員長が各支部の役員会や集まりに参加されて、他の支部で聞いた事をほかの支部に共有するという横ぐしをさしている素晴らしい活動だと思い参考にさせていただきたいと思いました。

●雨宮理事より

山口組織委員長は 日本代協の情報をちゃんとブロックの委員に WEB でちゃんと共有している。

企画環境委員会

田中企画環境委員長 不公正募集について、好事例・好取組報告を 3 県で共有。

不公正募集は引き続き広く募集していく、価値向上策の数値目標は設定しません。

好事例、好取組を共有することにより各会員さんが自分達もやっていこう、やらないとまずいという意識を情勢していくことを主眼に置いて取り組んでいきます。

代協の価値向上策については我々の価値を上げる必要があります。他チャネルのディーラー、モーター等に対してプロ代理店としての価値はなんなのかという所を上げる施策、リスクマネジメント講座は我々のプロとしての知識スキルを上げる講座です。J-SASについては組織力を高めるための施策になっています。社労士についてはお客様を人的リスクから守るため、ジギョケイは災害リスクから守るため、こういった事で

他チャンネルと差別化をする。また同時に同業他社との差別化もテーマになっています。ジギョケイに関しては既に先進的な取り組みをされている代理店が各都道府県にあると聞いています。そういった代理店さんが増えていくと、取り組みをされていない代理店さんの価値が下がるという事になりかねないので、各代理店さんが自主的に取り組みを進めていただく必要があります。企画環境委員会ではそういった所をサポートしていくことになりました。

7/28全国一斉zoomミーティングでは全国の好事例を紹介しますので各都道府県にて会員さんに広げてほしい。

●雨宮理事より

日本代協の松本委員長もなかなか価値向上策が広がらないことに悩んでいた。

福島代協の人材育成でジギョケイセミナーに特化したセミナーを開催した結果そこで理解度が高まったという話もある。人材育成で、ジギョケイ、社労士の話も盛り込んで周知徹底を図るのも有効。

情宣する機会が少ない印象があるので皆さんで力を合わせてやってほしい。

教育委員会

木村教育委員長 コンサルティングコース受講目標数、新潟17、長野群馬16

WEBセミナー7/30、9/11 半日開催となり負担減になりました。

コンサルティングコースの受講の難易度が来年度から高くなると聞いていますので、出来るだけ今年度の受験をお勧めします。

トータルプランナーの認知度をあげるにどうしたらよいかについて収集中7月発表予定。アカデミーについて、会員減少という事でこのアカデミーの業務を続けて行く必要があるのか議論中です。魅力あるものが出来ていない現状とそこにかかる経費、それを視聴する人がどれだけいるのか、深い議論をしています。その中でアカデミー新コンテンツの担当をしていますが、代協活動から学ぶという事で各代協を積極的にやられている代理店さんを各県の中から選定していただき、インタビュー形式のYouTube的なものを作成予定。出前講座、ぼうさいまっぷ、ジギョケイ、社労士人手、地域貢献など代協活動を積極的にやっている代理店さんがいらっしゃったら紹介してください。

●雨宮理事より

しっかりお伝えされて素晴らしい、引き続き頑張ってもらいたい

代協活動を積極的にされている代理店さんが皆さんの近くにいらっしゃったら是非報告してほしい。

また企画環境委員会、CSR委員会など委員会同士の横ぐしもやってほしい。

事務所でスケジュールを決めてアカデミーを定期的に取り組むようにすると社内のやる気も膨らむし、アカデミーの灯をともしない事が大事。

CSR委員会

南雲正CSR委員長 ぼうさい探検隊マップコンクールについて積極的に推進しています。

以前は夏休み中心に作成されていたが、夏の暑い時期は危ないので熱中症等にならないような状況を確認しながら作成に参加してほしい。日本代協からの参加賞（ウエットティッシュ）配布は今年度までで、来年からは参加賞は配布しないと決定された。

地震保険、無保険車、盗難防止などのキャンペーンについては引き続き活動継続しま

す。献血、こども110番についても同様です。河川や道路についての清掃活動については、地域で開催されている活動に便乗して活動するケースとCSR委員会で独自に企画してオリジナルで活動する2パターンがあります。どちらのケースとも継続して活動していきます。出前講座をビデオ化し共有し、推進していきます。

ぼうさい国体は今年度新潟で開催されますので群馬県としても応援参加する予定。

日本代協からも皆で参加する予定で楽しみにしています。

SDG s 勉強会に参加しました。SDG s の活動を各県に於いて宣言をして実践していくことが今年の目標となっているが、まだまだ勉強不足で理解不足な為引き続き勉強会に参加し今後の活動に反映させていきたいと思っています。

●雨宮理事より

CSR活動は全国で色んな取り組みがあるので多岐に渡っていて報告が難しいと思いますが、参考になる良い取り組みを共有されていくと良いと思います。

ぼうさいマップコンクールは入賞することが目的ではなく、地域の大人子供達のリテラシーが上がって欲をかくと行政を動かすところまでいくといいなという思いで行っています。

現にぼうさいマップから信号のピッチが変わった、無かった横断歩道が出来た、柵が出来たという行政を動かした事例があるので、皆さんもマップを作成した後のその影響はどうだったか、このマップがどう活かされたかを追いかけていただきたい。

SDG s 活動はこれから理解していただいた上で各県にて宣言をし取り組んでほしい。

群馬代協・中田会長からトータルプランナー認知度アップぼうさいマップについて

群馬代協では今年の総会で認定バッチ授与式を開催しました。参加されていた保険会社の支社長が評価されて保険会社社員に勧めていきたいと話されていた。またバッチ授与者の発表を聞いてそれぞれの代理店さんへの声掛けをしていただきかなり有効だったと思います。

ぼうさいマップコンクールについては、群馬代協の代理店さんでは3つのこども会にお願いをしていて、作成したマップを市長に報告をされたそうです。そのマップは通学路の整備にかなり活用できるという事で新聞に掲載されました。

群馬代協・中島副会長＞西日本方面での日新火災さんの代協加入がなかった原因は何か。

山口組織委員長→ 保険会社と代理店とのコミュニケーションが取れてないかもしれない。

雨宮理事→ エリア毎の温度差が強いのかなと感じる。

新潟代協・桑原組織委員長＞トータルプランナーが手数料体系、業務品質に組み込まれているから自己発 生型加入が増えていると思うが、アカデミーも同じように代協がアピールし 組み込まれたら理想的だと思うのですが。

乗合をしているが、WEBセミナーや教育をオンラインで受けているが内容が重複している。業務の間に勉強する度合いが多い為、この状況の中アカデミーを受講する事が大変と思っている会員さんは多い。日本代協アカデミーを各保険会社に認知していただき、この日本代協アカデミーを受講修了しテストで合格をすればポイントに反映するとなるのが理想ですがいかがでしょうか。

木村教育委員長 → 品質の面では保険会社の方が上です。かなり安価で作っているのでどこまで予算を投じられるかがある。

雨宮理事 → 日本代協への希望としては予算をもっとつけてほしいという事。

各社研修制度を受けていれば大丈夫と考えている方もいる。

各保険会社を横断して保険商品に対して横並びで研修が出来るのは日本代協のアカデミーだけ。1社専属の代理店がいいが、日本代協アカデミーのコンテンツはここに趣きを置いている。保険会社にはこの部分をアピールする必要がある。

□報告事項 3

日本代協関連事項概要報告 日本代協 雨宮理事

- ・小田島会長の理事会でのご挨拶で4月初めにブロック長懇談会を開催いただきました。
今回は研修的な要素が大きかったですが、再開することとしました。今後ブロック協議会がますます有効的なものにしてほしいとのご挨拶をいただきました。
- ・3月の臨時総会で承認された錦野監事（弁護士先生）が出席されました。錦野先生は金融庁に出向されて損害保険の業法改正の時に審議委員になっておられてこの業界に極めて近い方、損保協会の事をよく分かっていて、日本代協の動きに関して好意をお持ちいただいている方です。今後適切なアドバイスをいただけるものだと思います。
- ・各委員会の昨年度の振り返りで2024年度諮問事項に対する1年間の流れと委員長の所感を紹介された。
（資料参照 諮問事項回答書）
- ・24年度「日本代協特別賞」の選定について、愛知県代協、福井県代協、大阪代協が受賞されたと報告。
（資料参照 日本代協特別賞推薦候補）
- ・2024年度の取組みに対する表彰で上信越ブロック3県は、仲間づくり目標達成、±ゼロ目標達成、並びに三冠王で表彰されました。
- ・日本代協コンベンションの会員参加費現行7,000円から8,000円に、関係者の参加費は現行10,000円から12,000円に上がる。
- ・コンサルティングコースWEBセミナーの件ですが、今年度から半日で終わる。
- ・日本代協の会計報告ですが今年度も赤字で計上しているが、活動の見直しをしていく。
活動をやめるのではなく、目的が達成したものそうでないもの、新たに組み直すもの入れ替えを行い内容の精査し費用を抑えていく予定。会費の改定については全国に大きい影響を与える為、慎重に丁寧に年間事業を皆さんと合わせていきたい。
- ・錦野監事から、3月に開催された金融庁との意見交換会の議事録を作成し報告を行いました。
非常に活発な議論が行われ評価を得られました。金融庁も属人的ではなく、定型化した金融庁の正式な取り組みに盛り込みます。今後も事前質問を受け付け、効率的な審議を行い実のある会議にしていきたいとエールをいただきました。

□次回協議会開催日 9月25日(木) リアル開催（長岡市中之島文化センター予定）

□閉会の挨拶 長野代協 中澤会長

皆さま、長時間ご協議お疲れ様でした。2年目になり和やかな雰囲気の中で、活発な各県、各委員会からの熱意ある適切なご意見があり有意義な時間でした。冒頭雨宮理事からもありましたが、上信越ブロックの議事録を金融庁も注目しているとのことですので、今後益々協議会の意味というのも重要視されていくと感じますので、今日共有したことを持ち帰って各県、各委員の皆さんと共有してください。暑い時期ですが、体調崩さずに また次回成果というお土産を持ち寄って開催したいと思います。今日のご苦労様でした。

以上

小山会長より補足： 次回は少し時間を早める予定